

～佐世保市薬剤師会 アンチドーピング啓発ブースを終えて～

佐世保市薬剤師会 国体準備委員会  
委員長 徳永 修

長崎がんばらんば国体が、平成 26 年 10 月 12 日から 22 日の予定で、長崎県各地において競技が開催されました。当地、佐世保でも、正式種目が、8 競技開催されました。

佐世保市薬剤師会としても、国体の運営に協力する一方、「薬物乱用防止」でもある、アンチドーピング啓発活動を、10 月 18 日、19 日の 2 日間、佐世保市国体実行委員会のご厚意で、佐世保市体育文化館および東部スポーツ広場にて、佐世保市薬剤師会のアンチドーピング啓発ブースを開設しました。

活動の内容は、2ヶ所の会場で開設した啓発ブースにて、観覧者に対し、アンチドーピングに関する認識を確認するための簡単なクイズに答えていただきましたが、その解説を行う際に、アンチドーピングへの認識を高めてもらう、という取り組みを行いました。活動メンバーは、佐世保市薬剤師会 国体準備委員会 8 名を中心とし、佐世保市薬剤師会常務の先生方にもご協力をいただき、全部で 17 名で運営しました。

佐世保市体育文化館では、少年女子バレーボール競技が行われ、その初日と 2 日目に開設しました。特に 2 日目は、地元、長崎の試合が行われる事もあり、大盛況でした。多くの観覧者の中には、将来、国体選手となるであろう、ジュニアの選手達も多く来ており、ジュニアの時代から、アンチドーピングへの関心を持ってもらえたのではないかと思います。また、試合を終えた選手の方々にも立寄っていただき、アスリートの方々へも情報の提供が出来たのではないかと思います。

もう一か所の、東部スポーツ広場では、ハンドボール競技が行われました。こちらは、準決勝、決勝と行われ、強豪チームを応援する観覧者や、決勝では、有名選手を見ようと、多く観覧者が詰めかけました。体育文化館同様、ジュニアの選手、現役の選手にも声をかける事が出来ました。

また、2ヶ所とも、アスリート以外の方々にも、多く立ち寄っていただきました。アスリートと、それ以外の方とのアンチドーピングに関する認識の違いなどが、今回実施したクイズの結果で出てくれば、面白いと思いました。

佐世保市薬剤師会からは、薬剤師会の旗とユニフォームを作らせて頂きました。いずれも、オレンジ色をベースとして作りました。啓発ブースに立寄られた方に、少しでも、印象として残っていただければと期待しています。

おおよそ 1 年間の国体準備委員会の活動でしたが、関係したスタッフも様々な体験、経験をしてきました。その中で、アンチドーピングや薬物乱用防止の啓発に対する意識は向上してきたと思います。今後も、この経験を生かし、医薬品の適正使用と安全性の確保を、地域住民の皆様にお伝えできればと思います。

最後になりますが、ご協力いただいた皆様、関係各位におかれましては、誠にありがとうございました。お礼申し上げます。